

## はしがき

本報告書は、平成 17 年度に当研究所において実施した補助金研究「中東諸国におけるイスラームと民主主義－ハマース 2006 年立法評議会選挙綱領を中心に」の研究成果を取りまとめたものです。

本研究プロジェクトの主な目的は、現在の中東地域における民主化の進展とイスラーム主義の台頭について、その現状を明らかにすることにあります。数年来、権威主義的な政権が多数存在する中東諸国における国内的な圧力と、アメリカを中心とする国際的な圧力とがあいまって、中東各地で民主化運動が高揚しています。一方、民主化が進展する中で民主的な選挙が実施された結果、イスラーム運動が選挙を通じて躍進するという事例も多々みられます。このようなイスラーム運動の政治的伸張は世界の耳目を集めていますが、イスラーム運動に関する研究はいまだ蓄積が不十分であり、研究の発展が急務とされています。

そこで、本研究プロジェクトでは、中東諸国における民主化とイスラーム運動の台頭について論究する試みの一環として、パレスチナを代表するイスラーム運動であるハマースを事例として研究を実施しました。具体的には、2006 年立法評議会選挙における選挙綱領の翻訳・解題によって、ハマースの掲げる政治理念について解明することを試みました。

なお、ここに表明されている見解は全て各執筆者のものであり、当研究所の意見を代表するものではありませんが、本報告書の内容が、我が国における中東・イスラーム研究の質的向上に資することを期待します。最後に、本報告書の作成にご尽力・ご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 18 年 3 月

財団法人日本国際問題研究所

所長 友田 錫

## 研究体制

本研究の実施にあたっては、以下の体制にて行いました。

横田 貴之	当研究所研究員
佐々木 理香	当研究所研究助手